

共振回路内蔵型 AM 受信ブースター 取り扱い説明書

このたびは、受信ブースターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

■製品の説明

・本体正面

本体正面には、同調ツマミ、共振回路 ON/OFF スイッチ、電源スイッチ 兼 ゲイン調整ツマミ、通電ランプ(LED)があります。

同調ツマミは、共振回路 ON/OFF スイッチが ON のときに有効です。同調ツマミは、本体
内蔵共振回路を受信周波数にあわせるために使います。同調点において感度が高くなりま
す。

共振回路 ON/OFF スイッチは、本体内蔵共振回路を使う(ON)、または使わない(OFF)の
切り替えスイッチです。ON にすると、同調ツマミでチューニングした受信周波数において高
感度になります。OFF にすると受信周波数による感度差がなくなり、アンテナから信号をその
まま増幅します。OFF で、同調型ループアンテナ用のブースターとしてお使いいただけます。

電源スイッチ 兼 ゲイン調整ツマミは、反時計方向に回しきると電源 OFF になります。
ON⇄OFF の境界位置は、12 時付近です。電源 ON/OFF に連動して、通電ランプが点灯/消
灯します。

ゲインは、反時計方向へ行くほど高くなります。ゲインは高ければ良いと言うものではなく、
適度に調整してください。過大な入力を与えると、ラジオの動作が不安定になるなどします。
ゲイン調整は、同調ツマミで同調点を探すのにも重宝します。適度にゲインを下げることで、
「目的とする放送だけが、同調点において聴こえる」の状態が作り出せます。

・本体左右側面（電源電圧/電流）

本体左側面には、外部アンテナ入力ミニジャックがあります。ここへ MLA や、同調型ルー
プアンテナなどを接続します。

本体右側面には、ブースター出力ミニジャックがあります。ここへ、カプラへの同軸ケーブ
ルを接続します。この右側面には、電源用 DC ジャックもあります。中心電極径が 2.1mm で、
中心電極がプラス極です。電源電圧範囲は、直流 6~20V です。本体の電源電流は、ゲイン
によって 2~15mA 程度変化します。電池ボックスの代わりに、トランス式 AC アダプタがお使
いいただけます。この種の AC アダプタは電源電圧が安定化されておらず、電流によって変
化します。そこで表示の出力電圧が、6~9V 程度の製品をお勧めします。またこの種の AC
アダプタ自体の電力消費が数ワットと比較的大きいため、使用しないときは AC アダプタをコ
ンセントから抜くことをお勧めします。

■ AM ラジオ用カプラ

AM ラジオ用カプラは、ラジオを縦方向にしぼるように取り付けます。カプラのループにラ
ジオを通して、ループがラジオにフィットするように留め具でしぼって固定します。

カプラの取り付け位置が、ラジオの右寄り・左寄りで感度に違いが出ることがあります。感度のよいほうでお使いください。またカプラのチューブ内には電線が通っており、押しつぶすような重いものは載せないでください。

■設計・製作

故障などは、下記までお問い合わせください。なお回路図などの生産資料は、開示いたしておりません。ご了承ください。領収書日付の7日後より12ヶ月間を、初期故障を対象にした無償修理期間とさせていただきます。領収書の保存をお願い申し上げます。部品の磨耗や破損などに対する修理は、有償とさせていただきます。

〒215-0017 神奈川県 川崎市 麻生区 王禅寺西5-3-5-302

電話&FAX 044-989-4317

電子メール mkatsube@juno.dti.ne.jp

勝部 雅稔 (かつべ まさとし)